

道徳教育方法研究

第 25 号

2019

I. 研究論文

1. 道徳科の学習における教師の“きく”を捉え直す

竹本 晋也

2. 「道徳的価値の自覚」再考

— 木村素衛の思想を手がかりとして —

三宅 浩司

II. 実践研究報告

1. 小学校若手教員の道徳授業に関する力量形成の在り方についての一考察

— 民主的リーダーシップによる主体的・対話的で深い学びの学習会 —

谷口 雄一

III. シンポジウム 学校教育の行方と道徳科の未来

1. シンポジウムの資料

- (1) キー・コンピテンシーを超える教育を求めて

— 人格の完成を目指して（教育基本法第1条） —

磯田 文雄

- (2) 道徳科移行に伴う課題と展望

— 教育課程の設計と教育実践の狭間で何を問い得るのか —

谷田 増幸

- (3) 学校現場の立場から語る道徳科の今

— 見えるかな、未来 —

竹本 晋也

2. シンポジウムのまとめ

島 恒生

小林万里子

IV. 課題研究 道徳科における指導と評価の一体化をめぐる諸問題

— 小・中学校の実践事例から —

1. 課題研究の資料

- (1) 道徳授業の指導改善に生かす評価を含めた授業づくりの提案
— 評価、検証、改善を見据えた教材分析 —

後藤 和之

- (2) 生徒の自己評価の活用と記述式評価の方向性

中山 芳明

- (3) 道徳科における指導と評価の一体化
— 「学習としての評価」の視点から —

西野真由美

- (4) 道徳科の評価における現状と課題を考える

富岡 栄

2. 課題研究のまとめ

小川 哲哉

V. 会務報告

VI. 日本道徳教育方法学会 会則

VII. 『道徳教育方法研究』投稿規定

VIII. 欧文サマリー

編集後記